

東日新聞

TONICHI NEWS

発行者/東海日日新聞社 <http://www.tonichi.net>
〒440-0874 愛知県豊橋市東松山町90番地 TEL.0532-53-2800 FAX.0532-53-7222 E-mail post@tonichi.net

地域を笑顔に

- ② 豊橋市議会一般質問最終日
- ③ 豊川市議会一般質問2日目
- ④ 高畑郁子さん地域文化功労者表彰
- ⑤ 20日まで綿引明浩展
- ⑥ 学級新聞コンク受賞作決まる
- ⑦ 豊橋筆職人が豊川特別支援学校で講座

公共交通

維持・活性化狙い豊橋市

利用促進へ条例制定目指す

利用者5分の1に人口減少も今後影響 車依存脱却など6項目基本に

豊橋市は、公共交通の利用促進などを目的とした条例の制定を目指している。動機となったのは、過度に自動車に依存したライフスタイルを背景に、公共交通機関の利用者が減少し続けていることへの危機感だ。(中嶋真吾)

市によると、市内の交通手段は自動車約7割を占め、愛

知県平均より高く増加傾向にある。特に路線バスの利用者数

は、この半世紀で5分の1程度にまで減った。人口減少で公共交通利用者は今後さらに減り、路線やサービス水準の維持、存続が困難になる可能性もあるという。

先月下旬の市議会建設消防委員会で市側が示した条例の骨

子案では、公共交通事業者の責務と市民や事業者の役割を明確にし、ともに交通づくりを進め、公共交通の維持・活性化を図るとしている。基本施策に挙げるのは、過度な自家用車利用からの転換についての意識の改革▽利便性が高く、機能的な公共交通ネットワークの形成▽安全かつ円滑で快適な乗降環境、乗換環境、待合環境の整備▽従来の乗合型の公共交

通の運行が難しい地域における移動手段の確保▽公共交通に係る技術革新の調査・導入▽まちづくりと連携した交通施策の実施の6項目。市は公共交通の利用促進に関する施策を立案・実施する役割を負い、市民や事業者はできるだけ公共交通を利用するよう努めるとし、公共交通事業者には市民や事業者の意向を効率的な事業運営に反映させることなどを求めている。

市は、来年4月の条例施行を目標に掲げる。公共交通に関する条例を巡っては、金沢市や福岡市、新潟市など全国で8自治体がすでに制定している。



ハイビームを促すステッカー

4時からライト、ハイビーム！

田原市交通安全協会 啓発ステッカー製作

県のライト・オン運動(夕暮れ時の前照灯早め点灯運動)実施に伴い、田原市交通安全協会は車両のハイビームを促す車両用ステッカーを製作した。

ステッカーは、6・5×22センチの大きさで1200枚製作。「4時からライト、ハイビーム推奨」と表

示した。5日は、交通大監視を行った田原市萱町の交差点で、ステッカーをお披露目。今後、田原警察署、田原市の所有する車両だけでなく、市内各事業所へも配布し、車両への貼付を促していく。

夕暮れ時は視認性が低下して人や車の動きが見えにくくなる上、下校や買い物などにより人や車の交通量が増える時間帯と重なることから、交通事故が多発する傾向。

点灯時刻の目安は、日没時刻の1時間ほど前。雨やくもりの日など視界不良になった時は、昼間でも点灯する。田原市内における交通死亡事故発生件数は6日時点で1件。田原署は「午後4時頃には点灯して、交通事故の発生を防いでほしい」と呼びかけている。(深田いつみ)

風針

師走に格好の話題、「新語」

・流行語大賞が発表された。年間大賞は昨年に続き、出どころは野球である▼昨年同様に「周りじゃ誰も言っていない」そんな違和感を訴える声もちらほら。名詞+「って」という言い回しには、むしろ懐かしさすら感じてしまう▼「誰もが口ずさめる歌謡曲がなくなった」と言われて久しい。紅白歌合戦の衰退の原因として語られることが多い。世代間の乖離(かいり)が進むほど、ヒット曲や誰もが納得する流行語は生まれにくい。しかし今年の流行語は豊作といわれた▼主な情報源をインターネットとするグループとそれ以外で二極化していたのが、互いに歩み寄ってきたのだからか。いや、ネットに寄せてきたのか。ネット社会にも秩序というか、ある種の潮流ができていくようにも感じている▼「パクチースト」なる造語も話題になった。異論はない。それにしてもパクチー好きを公言する人が、妙に得意気に見えるのはなぜだろう。